学校番号	202

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校「精選言語文化」　（第一学習社）						
副教材等	「新明説総合古典文法」　（尚文出版） 「新明説総合古典文法　基本練習ノート」　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、言語表現に焦点を当てて古典や近現代の文学作品を読み味わい、自分の考えを、調査を行ったり他者と協働したりすることで深めていく活動を行います。
・さまざまな時代の文学的文章を読み味わううえで必要な語彙や文法事項をしっかり身につけましょう。また、読んで感じたこと、分析したことをまとめ伝えるための「話す力」「書く力」を養いましょう。
・授業では、読み取ったことや語彙・文法のポイント、自分の考えなどをワークシートにまとめて提出します。また家庭学習として、言葉調べや事前の読み取り課題などを課します。いずれも自分の力で、最後まであきらめずに取り組んでください。

2　学習の到達目標

古典や近現代の言葉や作品を読み味わう言語活動を通して、正確な読解・理解力と効果的な表現力を次の通り育成することをめざす。
(1) 今後の社会生活で求められる言語知識や技能を広く身につけ、古典や近現代の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
(2) 作品を正確に読み取ったり、自分に引きつけて考え感じる力を養ったりするなかで、他者と共有するための活動も取り入れながら、より豊かで深い思考力を身につけられるようにする。
(3) 自ら進んで言語活動学習に取り組み、さまざまな時代の作品に広く触れることで感性や思考を深化させ、他者や社会との関わりの中で適切に言葉を用いて自他を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	今後の社会生活で求められる言語知識や技能について理解を深めて広く身につけ、適切に用いている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、作品を正確に読み取り自分に引きつけて考え感じる力を養うために、他者との協働活動を通して、より広く深い思考力を養おうとしている。	自ら進んで言語活動学習に取り組み、感性や思考を深化させながら言語感覚を磨き、他者や社会との関わりの中で効果的に言葉を用いようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	古典の文章に慣れ、文法の基礎を習得しながら、話の面白さをつかむ。 ［教材］ 「児のそら寝」(宇治拾遺物語)	a：古典の仮名遣いや文法の基礎知識を、入門の文章において理解している。 b[読]：古典における決まりや語彙を正しくつかみながら、話の展開の面白さを正確につかむことができる。 c：古典に必要な正確な知識を、自ら進んで学習し、身につけようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	文法の基礎を習得しながら、創成期の物語を、現代へのつながりを感じながら読む。 ［教材］ なよ竹のかぐや姫(竹取物語)	a：古典の仮名遣いや文法の基礎知識を理解し、実際の文章にあてはめて運用することができる。 b[読]：古典における決まりや語彙を正しくつかみながら、現代に生きる作品を原典で読み味わうことができる。 c：古典に必要な正確な知識を、自ら進んで学習し、実際の文章を読解するのに役立てようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	主人公の心理の変化とそれに伴う行動の変化を読み取る。 ［教材］ 芥川龍之介『羅生門』	a：文中の漢字や語句の意味を、使いこなせるものとして身につけている。 b[書]：本文の正確な読解を基にして、原典との比較を行い、わかったことを他者に効果的に伝わるように論述できている c：古典作品に題を取った近代の文章の分析を主体的積極的に行い、考えをわかりやすい文章にまとめる工夫をしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
2学期	歌物語における和歌の役割を押さえながら、読み解き方を理解する。 ［教材］ 『伊勢物語』「芥川」「筒井筒」	a：古典を読むのに必要な文法や語彙を身につけている。 b[読]：古典における決まりや語彙を正しくつかみながら、主人公の状況や心情を、和歌表現の理解も含めて把握し、味わうことができる。 c：古典に必要な正確な知識を自ら進んで学習し、当時の価値観や習慣を調べたり考えたりしながら、作品の面白さをつかもうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	日本における漢文の役割を学び、訓読の基礎を確認しながら現代でも用いられる故事成語が漢文に由来することを知る。 ［教材］ 漢文入門 ・「狐借虎威」	a：漢文訓読に必要な基礎知識を身につけている。 b[読]：漢文訓読の知識を正確に用いて、現代のことわざの原典である漢文を、展開の面白さをつかみながら理解できる。 c：漢文訓読や読解に必要な正確な知識を、自ら進んで学習し、身につけようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	「夢」という虚構に仮託した作者の意図を理解し、古典と現代について考える。 ［教材］ 夏目漱石『夢十夜』第六夜	a：文中の漢字や語句の意味を、使いこなせるものとして身につけている。 b[書]：本文の正確な読解を基にして、古典作品が現代に生きる意味について、他者に効果的に伝わるように考えを深めて論述できている c：古典作品の意義を表現した近代の作品を読み、他者と意見交換を十分行いながら、古典を現代に生かす意味について考え、わかりやすく文章にまとめる工夫をしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート

3学期	古典の随筆を読んで、当時の人びとの生活やものの見方・考え方を理解する。 ［教材］ 『枕草子』「春は、あけぼの」	a：古典を読むのに必要な文法や語彙を身につけている。 b[読]：古典における決まりや語彙を正しくつかみながら、古典における価値観や感性を自分と引き比べてとらえられている。 c：古典に必要な正確な知識を自ら進んで学習し、当時の価値観や感性について、他者の意見や見方を取り入れながら、豊かに膨らませようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート
	史伝の時代背景を知り、作中人物の考えや人物像をつかむ。 ［教材］ 十八史略「完璧」	a：：漢文訓読に必要な基礎知識や基本的句型について理解している。 b[読]：漢文訓読の知識を正確に用いて、現代の熟語の原典である漢文を、歴史背景や駆け引きの面白さを把握しながら理解できる。 c：漢文訓読や読解に必要な正確な知識を自ら進んで学習し、漢文作品の面白さを他者の意見を取り入れて深め、理解しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート ノート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間